

- 休憩所・男女別トイレ・シャワー等の整備により、従業員が働きやすい環境を創出
- 出荷した牛の枝肉格付け表を社内で共有することで、社員一人一人の責任感や使命感が芽生える

(株)能登牧場の概要

【設立】平成25年2月

【代表者】平林 勲

【売上】580,000千円

【事業内容】和牛肥育

【経営面積】15,000㎡

【主要取引先】金沢食肉センター

【従業員数】7人

【所在地】石川県鳳珠郡能登町

【ホームページ】

働きやすい環境作り、賞与の評価基準の明確化による従業員のやる気アップ

【研修内容】

- ・1年目は、子牛から肥育中期における飼養管理を経験し、牛の生態、行動といった基礎技術から季節に応じた牛の健康管理等の理解を深める。
- ・2年目は、肥育後期から出荷における飼養管理を経験。牛の性別の違いによる管理技術や和牛における高品質化のための技術等を学ぶ。

【特長的な取組】

- ・従業員の働きやすい環境を整備するため、平成29年に休憩所、トイレ、シャワーを完備した施設を建設。また、平成31年に初めて女性の従業員を雇用したことを機に男女別トイレを新たに整備。
- ・出荷した牛の枝肉格付け表(肉や脂肪の色沢、肉の締まりやきめ等を格付けしたもの)の結果を社内全体で共有。その結果、従業員の責任感が芽生え、肉質の高品質化に繋がっている。また、県内で年2回開催されている枝肉共励会(コンテスト)で入賞した場合、担当者に賞与として還元しており、従業員のモチベーションが向上。

→休憩所等は他産業では当たり前にあるものという認識を持っていたため、少しでも従業員の働きやすい環境を作り、やりがいのある職場作りを心がけています。主に観光客による能登牛の需要の増加から徐々に県内消費も増え、規模拡大を考えるきっかけとなりました。農の雇用事業を活用し、新たに従業員を採用できたこと、又2年間にわたり人材育成を支援してもらえたことから規模拡大成功の一因となりました。

キャリアプランイメージ

農の雇用事業でのOJT
(2年)

・基礎的な飼養管理技術の習得

部門担当者(5年目～)

・約120頭の牛の管理責任者

副牧場長(7年目～)

・牧場全体の運営・管理
・後輩の指導・育成

